

施策評価調書 目標年度(27年度)実績

施策コード | II-1-(5)

政策体系	施策名	地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出	所管部局名	農林水産部	長期総合計画(プラン2005)頁	85
	政策名	知恵を出し汗をかいてもうかる農林水産業の振興	関係部局名	農林水産部、商工労働部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	新事業の創出	他産業や研究機関などとの有機的連携	資源循環型システムの構築

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		目標年度(27年度)			目標達成度(%)												
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	25	50	75	100	125								
i 産業連携によって開発された商品数(商品数)	①②	H16	6	80	221	276.3%													
ii 小水力発電施設整備箇所数(箇所)	③	H16	4	8	8	100.0%													

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 達成	6次産業化サポートセンターにおける専門家(プランナー)のきめ細かな相談・助言活動や関係機関の緊密な連携体制の構築により、新商品の開発件数は着実に増加した。		達成
ii 達成	H26年に緒方井路土地改良区の農業用水路を活用した事業を採択、H27年に完成し、施設整備箇所数は計8箇所となり目標を達成した。		

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・世界農業遺産地域の農林水産加工品等の販売チャネルの拡大に向けて商工労働部との連携により、ネット通販サイトの立ち上げの支援を行った。
②	・6次産業化商品の販売促進に向けて、福岡、京都、神戸の3箇所ですべ29社が参加するテストマーケティングを行い、商品のブラッシュアップを図った。
③	・バイオマス発電等に利用する低質材(C、D材)の原木を効率的に流通させる中間土場の整備に対する支援を行い、県内に5つの中間土場が整備された。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価
			総合評価
①	世界農業遺産ブランド推進事業・世界農業遺産ファンド推進事業	1,566,698	A
②	6次産業化サポート体制整備事業	39,181	B
	先進技術普及体制強化事業	16,520	A

【VI. 施策に対する意見・提言】

○「大分県新長期総合計画」第2回策定県民会議(H27.6)
 ・農商工連携、6次産業化も連携がうまくいっておらず、点に止まっている。点から面に広げるためには、うまくいっているところに政策を集中していく必要もあるのではないか。

○「大分県新長期総合計画」第2回策定県民会議(H27.6)
 ・林業は100年くらいの長期計画のビジョンのもとで、自然景観や森林資源、地域のあり方について、構造的把握をきちんと行い、ぶれない政策をお願いしたい。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	成果と今後の施策展開
A	<ul style="list-style-type: none"> ・プランナーの派遣や「おおいた食品オープンラボ」の開設など、6次産業化のサポート体制の充実を図ったこと等により、県内各地で6次産業化の機運が醸成された。また、県内各地に広がるドリンク茶や国東市のバジル、安心院の醸造用ブドウなど大口の実需者との連携による産地の育成が進みつつある。 ・ライフスタイルの変化等による個食の増加や食の外部化の進行などの情勢変化に対応し、加工・業務用の実需者などと連携した新たな商品づくりや食品産業などが主導する新たな産地づくりに取り組む。 ・CLT(直交集成板)などによる建築物の木造・木質化に向けた木材加工流通体制の構築や、乾しいたけや水産物の手軽で食べやすいレトルト食品の開発、健康・美容・有機・国産などの潜在的ニーズに対応した新商品の創出を行うなど新たなマーケットへの挑戦を促進する。